

その他の野菜の需給・価格動向について

(きゅうり、さといも、トマト、なす、ねぎ、ばれいしょ、ピーマン、ほうれんそう)

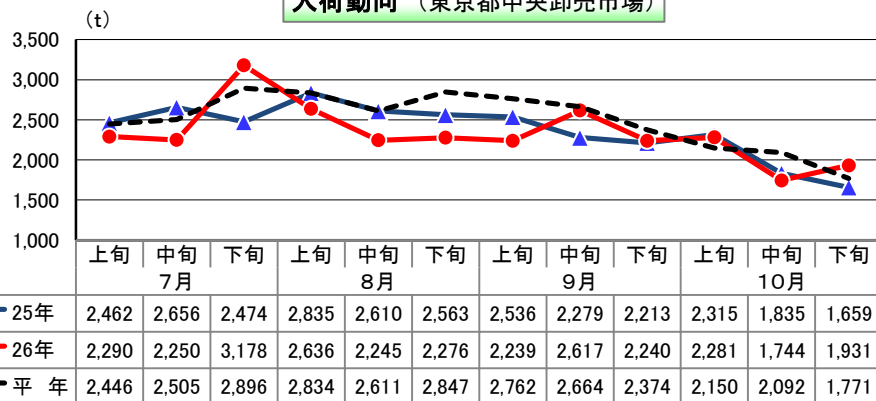
資料：東京青果物情報センター「東京都中央卸売市場における青果物の産地別入荷数量と価格」

注：平年とは、過去5か年（平成21～25年）の旬別価格の平均値である

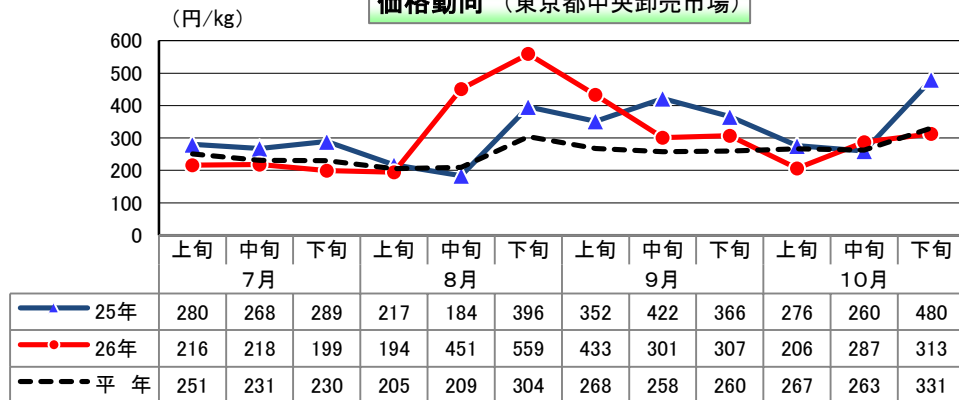
【きゅうり】（主な産地：福島、岩手、埼玉、群馬）

- 入荷量は、福島県産も7月下旬から露地もの出荷が始まり増加した。8月に入ると福島県産や岩手県産は、降雨や日照不足等の影響で前年を下回って推移した。9月中旬から、本格的に群馬県産の出荷が始まったが、面積の減少もあり出荷量は、少なくなったことから9月下旬以降前年並みか前年を下回って推移した。
- 価格は、7月はほぼ前年並みで推移していたが、8月に入り入荷量の減少に伴い、大幅に前年を上回った。その後は、9月に入っの低温の影響もあり消費が伸びず10月中旬を除いて前年を下回って下げ基調で推移した。

入荷動向（東京都中央卸売市場）



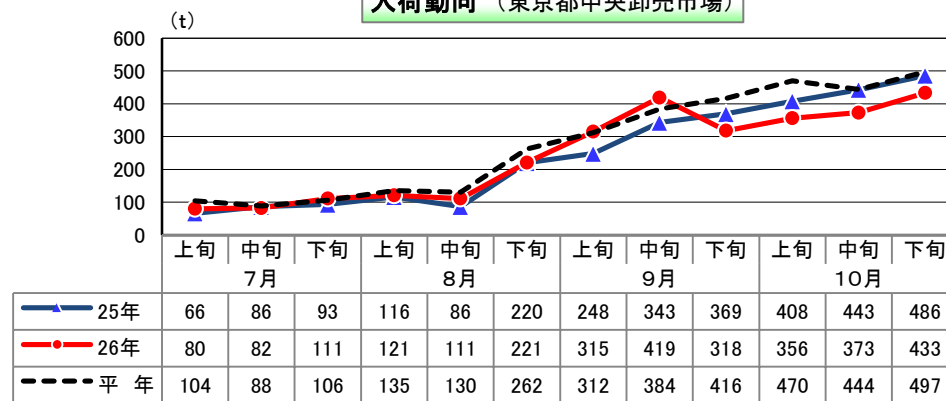
価格動向（東京都中央卸売市場）



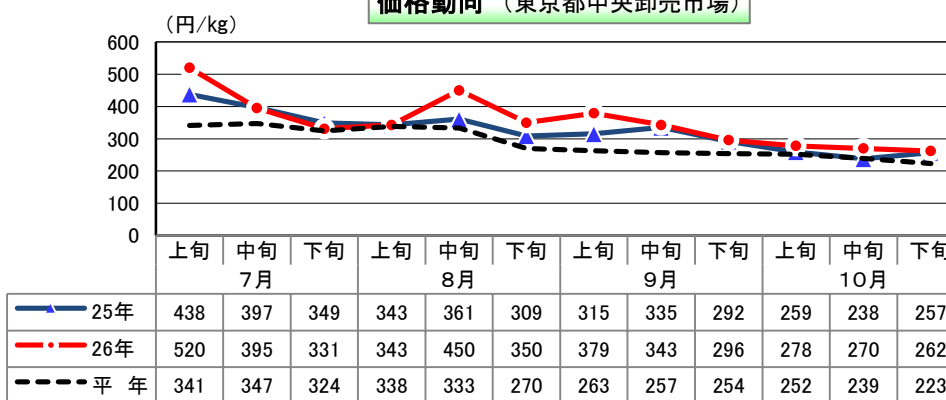
【さといも】（主な産地：千葉、宮崎）

- 入荷量は、8月までは各産地とも干ばつの影響から前年を下回った。9月以降、宮崎県産が8月の長雨の影響による収穫遅れから出荷が集中した9月の上・中旬を除いて、前年及び前年を下回って推移した。
- 価格は、旬を追うごとに下げ基調となっているものの、8月上旬を除いて前年及び前年を上回って推移した。

入荷動向（東京都中央卸売市場）



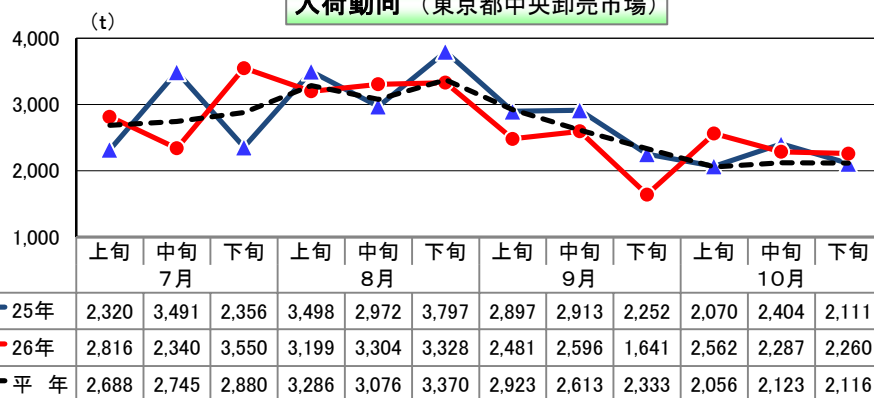
価格動向（東京都中央卸売市場）



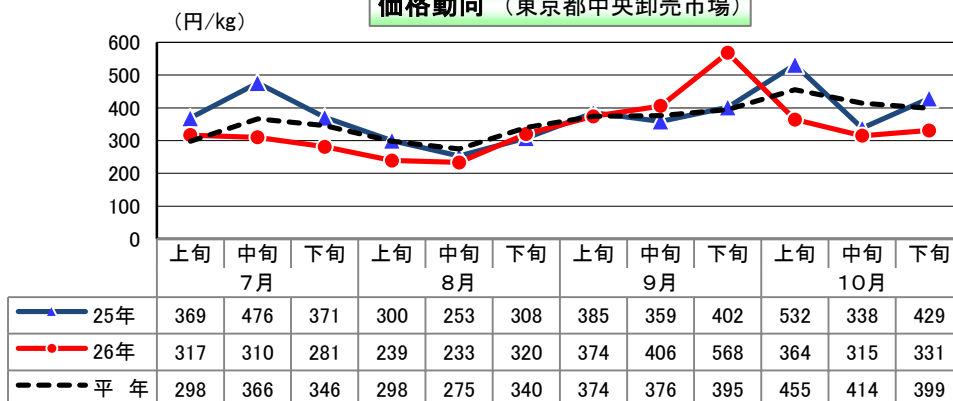
【トマト】（主な産地：青森、千葉、福島、茨城）

- 入荷量は、青森県産や福島県産などは天候に恵まれ7月の中旬を除いて概ね平年を上回ったが、9月に入り青森県産、福島県産及び千葉県産は曇雨天や日照不足等の影響による着色遅れから収穫が遅れ前年を下回り、10月に入り天候の回復により中旬を除いて前年を上回った。
- 価格は、8月までは、入荷量も順調だったことから価格も平年を下回って推移していた。9月に入り天候不順の影響から入荷量が伸びずに前年を上回ったが、10月に入り、入荷も回復したことから平年及び前年を下回った。

入荷動向（東京都中央卸売市場）



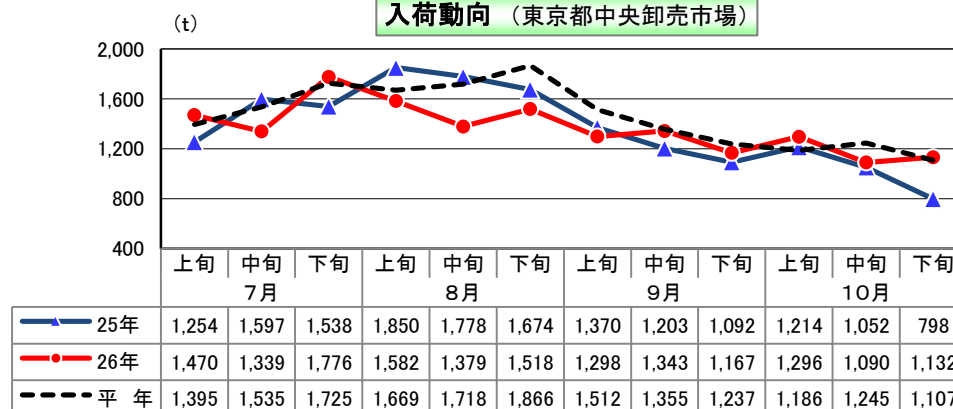
価格動向（東京都中央卸売市場）



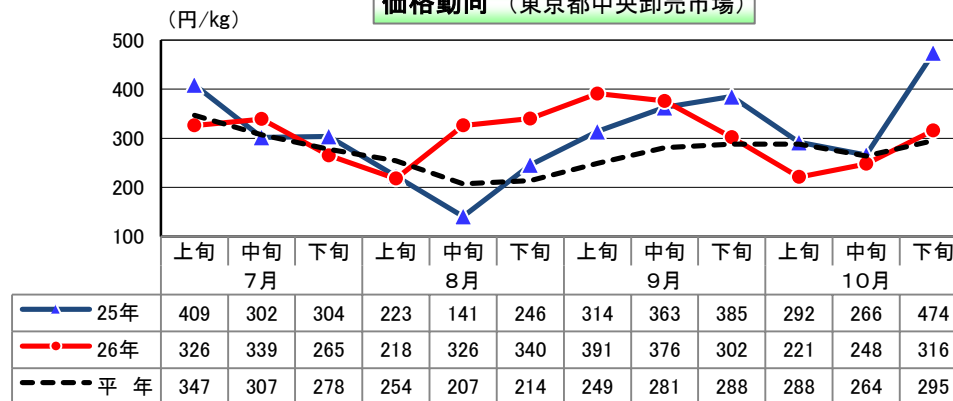
【なす】（主な産地：栃木、群馬、茨城）

- 入荷量は、7月は栃木県産が順調であったことから中旬を除いて前年を上回ったが、8月は群馬県産のハウスの雪害による作付面積の減少等から前年を下回った。9月以降は、群馬県産は一部に病害の発生があったものの、曇雨と低温により少なかった前年を上回った。
- 価格は、7月は入荷が順調であったことから中旬を除いて前年を下回ったが、8月に入り入荷減により中旬以降急騰し9月中旬まで前年を上回った。9月下旬以降は、出荷量の増加とともに前年を下回った。

入荷動向（東京都中央卸売市場）



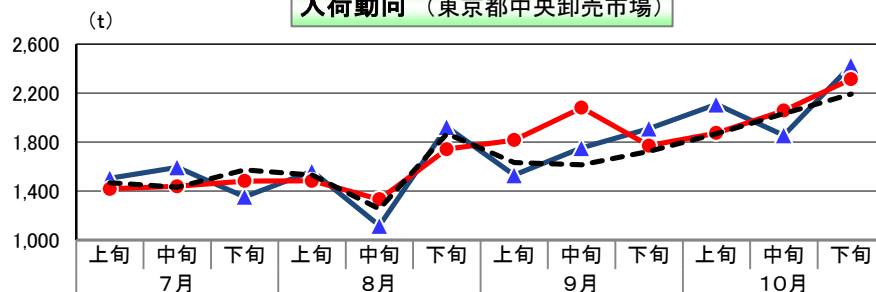
価格動向（東京都中央卸売市場）



【ねぎ】（主な産地：茨城、青森、北海道、秋田）

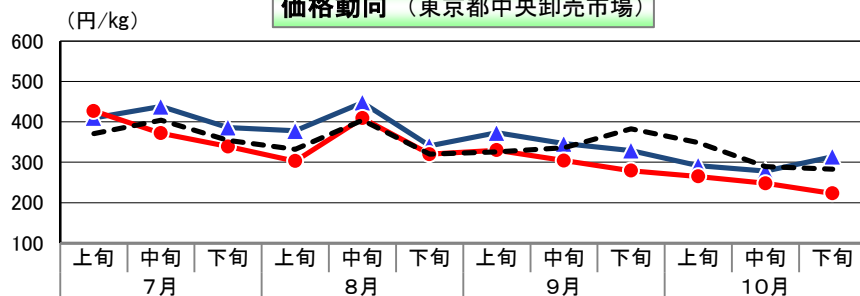
- 入荷量は、8月までは茨城県産が曇雨天の影響で生育が停滞したこともあり前年を下回る旬が多かったが、平年並みとなった。9月は青森県産が台風の影響もなく、順調に生育したことから前年を上回るも、10月は、中旬を除いて多かった前年を下回った。
- 価格は、期間を通して7月上旬を除いて、前年及び平年を下回って推移した。

入荷動向（東京都中央卸売市場）



	7月			8月			9月			10月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
25年	1,506	1,595	1,354	1,562	1,118	1,924	1,530	1,753	1,910	2,107	1,856	2,426
26年	1,418	1,439	1,482	1,484	1,333	1,742	1,816	2,080	1,771	1,874	2,057	2,314
平年	1,468	1,433	1,573	1,532	1,254	1,867	1,634	1,615	1,724	1,868	2,032	2,192

価格動向（東京都中央卸売市場）

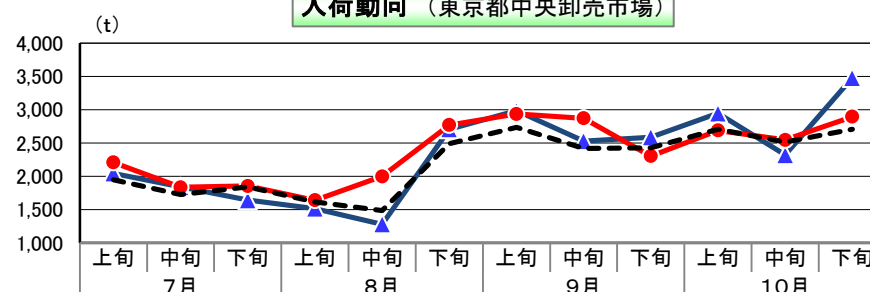


	7月			8月			9月			10月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
25年	410	438	386	378	448	341	373	346	329	292	278	314
26年	427	372	339	303	409	320	330	304	279	265	248	223
平年	371	404	354	332	404	320	326	336	383	349	289	283

【ばれいしょ】（主な産地：北海道、茨城）

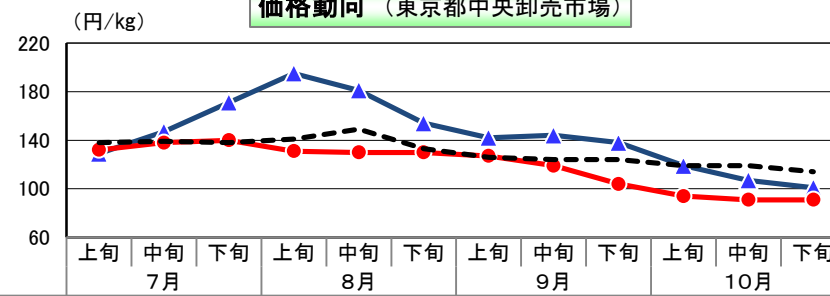
- 入荷量は、7月は茨城県産及び栃木県産が概ね順調であったことから前年を上回った。8月に入り北海道産が本格的な出荷時期を迎え、生育は概ね順調であったことから旬を追うごとに増加傾向となり、9月中旬までは前年を上回った。10月は多かった前年を下回った。
- 価格は、高値推移となった前年より落ち着いたと相場となり、平年並み若しくは平年を下回って推移した。

入荷動向（東京都中央卸売市場）



	7月			8月			9月			10月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
25年	2,045	1,840	1,644	1,518	1,281	2,708	2,985	2,531	2,589	2,946	2,321	3,480
26年	2,208	1,836	1,855	1,641	2,000	2,772	2,936	2,872	2,304	2,689	2,548	2,896
平年	1,949	1,725	1,841	1,618	1,486	2,491	2,734	2,420	2,430	2,706	2,517	2,707

価格動向（東京都中央卸売市場）

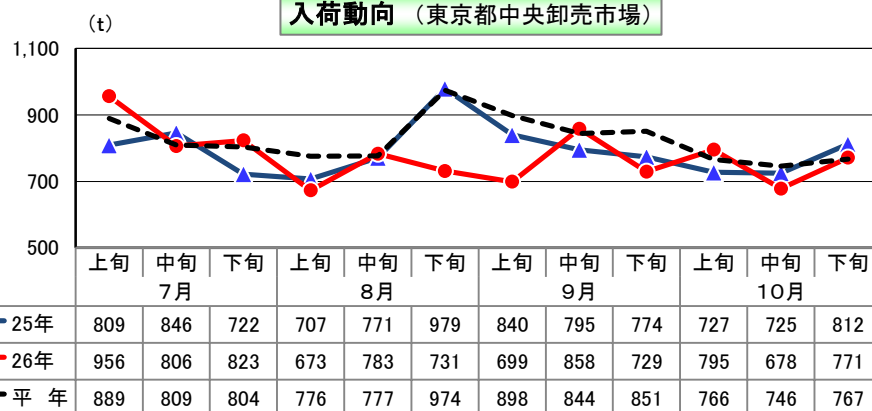


	7月			8月			9月			10月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
25年	129	147	171	195	181	154	142	144	138	119	107	101
26年	132	138	140	131	130	130	127	119	104	94	91	91
平年	138	139	138	141	149	133	126	124	124	119	119	114

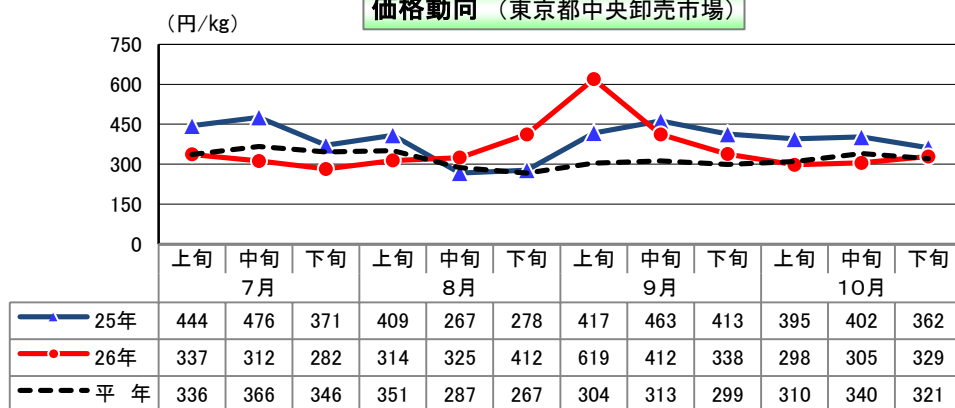
【ピーマン】（主な産地：茨城、岩手、福島）

- 入荷量は、岩手産では長雨と日照不足などの影響や、茨城産では、期間の前半は作の切り替え時期などもあり出荷量が少なめとなり、後半では主産地が本格的な出荷が始まり増加した時期もあったが、期間をとおしては概ね前年を下回って推移した。
- 価格は、期間の前半は前年を下回って推移していたが、期間の中盤には出荷量の減少などにより一時的に前年を大幅に増加した。しかし、その後は前年を下回って推移した。

入荷動向（東京都中央卸売市場）



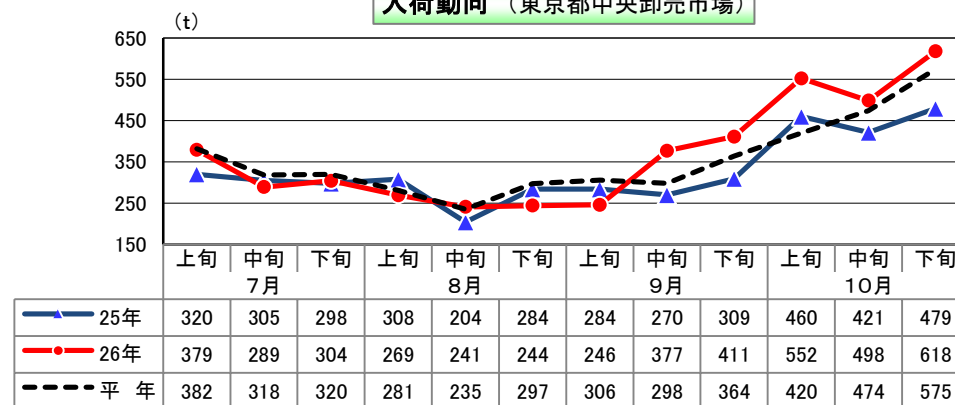
価格動向（東京都中央卸売市場）



【ほうれんそう】（主な産地：群馬、栃木、茨城）

- 入荷量は、8月までは各産地において天候などによる影響はあったものの、概ね順調な出荷となり前年並みで推移し、9月以降、主産地の群馬県産は長雨の影響も少なく順調に生育し、旬を追うごとに増加基調となり前年を上回って推移した。
- 価格は、ゆるやかな上昇基調であったが、8月下旬から9月上旬にかけて8月の長雨の影響により一時的に高値となったが、その後は、入荷の増加とともに下げ基調となり前年を下回って推移した。

入荷動向（東京都中央卸売市場）



価格動向（東京都中央卸売市場）

